

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名		NO.2-3(左岸)		調査位置						北緯		36° 32' 35.0000"							
発注機関		栃木県鹿沼土木事務所				調査期間		2007-12-26 ~ 2008-03-21				東経		139° 41' 30.0000"					
調査業者名				主任技師				現場代理人		コ ン 定 者		ボーリング責任者							
孔口標高		167.37 m		角				方 向				地盤勾配				使用機種			
総掘進長		7.10 m		度				試錐機				ハンマー落下用具							
								エンジン				ポンプ							

標高 尺	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記事	地層岩体区分 ／ 測定期日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内 試験	掘進 月日	
										深度 (m)	10cmごとの 打撃回数 ／ 貫入量 (cm)			値	深度 (m)	試験名 および結果	深度 (m)	試料 番号			採取 方法
											0 10	10 20	20 30								
(m)	(m)	(m)	(m)																		
1	167.07	0.30	0.30		暗褐			軟質な礫混じりシルト主体。 含水比は中位から高位。 粘着性は中位。 礫径2から25mmの角礫混じる。 2.40mより礫の混入がやや多い。	02/05 4.38 N	1.15	1 19	1 13	2 32	2							
2					暗茶褐		軟らかい	2.15		1 12	1 11	1 8	3 31	3							
3	164.67	2.40	2.70					岩片状・礫状コア主体。 色調一定せず、亀裂非常に多い		3.15				38 30	38						
4					暗褐灰			4.15		16	25	2 22	50	>50							
5	163.02	1.65	4.35					コア長30から100mmの短柱状、柱状コア主体。 岩は褐色に変質し、やや脆い。 黒色の新鮮岩、部分的に挟む。 亀裂やや多く、所々岩片状コアとなる。 4.85から5.00m礫状コア。 5.55から5.60mの間、粘土化する		5.15	17	33 7	50 17	>50							
6					暗褐灰			5.32			12 3	50 13	>50								
7	160.27	2.75	7.10					7.00		50		50 10	>50								
								7.10						>50					02/04		